

WHO ファクトシート

クリミア・コンゴ出血熱

Crimean-Congo haemorrhagic fever

ファクトシート No. 208

2013 年 1 月

重要な事実

- ・クリミア・コンゴ出血熱(CCHF)ウイルスは、深刻なウイルス性出血熱を引き起こす。
- ・CCHF 流行による致死率は、40%にのぼる。
- ・そのウイルスは、主としてダニや家畜動物を媒介し人間に感染する。ヒトからヒトの感染は、感染者の血液や分泌物、臓器や他の体液との密接な接触によって起きる可能性がある。
- ・CCHF は、アフリカ、バルカン諸国、中東及びアジアにおいて、北緯 50 度以南の国々で流行している。
- ・人間にも動物にも有効なワクチンはない。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権を WHO 事務局長より付与され、WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本 WHO 協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Crimean-Congo haemorrhagic fever ファクトシート原文は[こちら](#)